

研修のねらい

- 自治体職員に求められる、時代の変化を読み取る“眼”を養います。
- 政策形成に必要な基礎知識(政策体系、政策の要件、立案者の視点)を学びます。
- 政策(新規事業)を創造する5つのプロセスについて、討議と演習を通して習得します。

ホームページや出前講座などを通して政策に関する積極的な情報公開を進める、またパブリックコメントを用いて住民協働領域を拡大するなど、今、地方自治体は急速に行政サービスを提供する主体者から、公的価値の総合調整者としての総合政策機関へ変容しています。これらの時代の変化に対応すべく、自治体職員には政策企画や立案といった政策形成全般に関する基礎理論の習得が必須となっています。政策形成能力は「政策形成とは何か」という本質的な理解と、そこから導かれた手法を体験することによって、その向上が図られます。

この研修では、政策コンセプトの策定、事業の選定の具体的手法及び事業計画や事前評価の視点といった、政策テーマの選択から企画書作成に至るプロセス全体について、グループ討議などを通して模擬的に体験することで、政策形成能力の向上をめざします。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	<p>■ 政策形成の基礎知識</p> <p>1. 政策とは何かを理解する (1) 政策とは、政策の定義 (2) 政策の要件</p> <p>2. 政策形成の特徴 (1) 政策形成と問題解決、その違い (2) 政策形成時に求められるスキル</p> <p>3. 政策形成における視点 (1) 時代の変化を読み取る (2) 顧客の変化を読み取る (3) 行政の役割変化を見極める</p>	<p>5. 政策形成プロセス②: 事業選定 (1) 手段の洗い出し(アイデアの拡散) (2) 手段の構造化と事業の選定(アイデアの収束)</p> <p style="text-align: center;">◇ 演習: CBS-H, 5×5-H ◇</p> <p>6. 政策形成プロセス③: 事業の詳細設計 (1) 事業の構成要素の明細化 (2) 事業実施手順の構築</p> <p style="text-align: center;">◇ 演習: 事業計画のあらすじづくり ◇</p>
午後	<p>■ 政策形成の手順と実践ポイント</p> <p>4. 政策形成プロセス①: 政策領域の特定 (1) 環境分析 (2) 政策コンセプトの策定</p> <p style="text-align: center;">◇ 演習: 外部環境分析、政策コンセプトの策定 ◇</p>	<p>7. 政策形成プロセス④: 事業の事前評価 (1) 5つの実効性評価 (2) 事業比較</p> <p>8. 政策形成プロセス⑤: 企画書のまとめ方 (1) 企画書の構成 (2) 説得性を高めるポイント</p> <p style="text-align: center;">◇ 演習: 企画書づくりと提案事業の発表 ◇</p> <p>9. まとめ</p>